

平成28年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：平成28年4月16日(土)
午後7時～午後8時30分
ところ：東公民館
参加者：86人

○市長あいさつ

(市長より、平成28年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(女性)

市長さんの3期目のマニフェストで掲げている、「障害者入所施設の広域的検討とグループホームの整備」とは、どのような内容でしょうか。

回答(市長)

障害のある方が蕨で安心して住み続けられるよう、さまざまな障害者施策を進めています。そうしたなか、障害のある方や家族の方たちの一番の大きな課題は、生活をする場の確保といわれています。

グループホームとは、障害のある方たちが世話人等の支援を受けながら、少人数で生活する小規模の施設です。蕨ではこれまで2か所のグループホームがありましたが、昨年新たに錦町の市有地を活用し、1か所開設されました。NPO法人の運営の下、6人が生活をしているとともに、一時的利用のショートステイも2部屋ありますが、施設の更なる必要性を感じていることから、整備をしていきたいと考えています。

一方、入所施設とは、グループホームよりも規模が大きく、障害のある方たちが大勢入所できる施設で、障害の程度としては比較的重い方が対象となっています。県内の障害保健福祉圏域で蕨市が属する南部圏域においては、近年、川口市に入所施設ができましたが、グループホームと同様に更なる必要性を感じています。ただし、施設の整備には、用地の確保や事業者の誘致などの課題があるとともに、建設費等の補助金を交付する国の方針として、グループホームを推奨しているという事実もあります。このようにさまざまな困難な課題がありますが、今後とも南部圏域の自治体で協議や情報交換を重ね、圏域での人口動向や待機者の実態を把握し、国・県にその必要性を働きかける等の努力をしていきたいと考えています。

質問（男性）

市内には霊園が1か所ありますが、増やしてもらえないでしょうか。

回答（市長）

塚越5丁目に市営の塚越霊園がありますが、なかなか空きが出ないのが現状です。もちろん、市の霊園が数多くあればいいのですが、市域面積の狭い蕨では、用地の確保等を含めて、難しい問題がありますので、ご理解をお願いいたします。

質問（女性）

留守家庭児童指導室の指導員をしています。利用者の増加に伴い、指導員の確保や質の向上、また、市担当職員の充足が必要だと感じています。ご検討いただけないでしょうか。

回答（市長）

利用者が急増している中、日頃から指導員の皆さんには大変ご苦勞いただいております、感謝申し上げます。留守家庭児童指導室においては、児童一人当たりの面積基準等を踏まえ、利用者を受け入れるとともに、指導員を確保していくという考えの下、運営を行っています。また、「子ども子育て支援新制度」においては、指導員の方々への研修が必要とされており、市としても研修を順次受けいただき、更なる資質の向上にお役立ただけできるよう、努めてまいります。

新たな指導員については、現在も募集を行っていますが、なかなか確保できないこともあり、今年4月に校舎内に開設した東小・中央小では民間事業者に運営を委託しています。一方、市担当職員の充足では、担当である児童福祉課は今年度1名増員しましたが、財政的に厳しい中、更なる増員は難しい状況です。しかし、そうしたなかでも、子どもたちやご家庭にとって、より良い方向へ向かうよう今後も施設を増設しながら、体制を整えていきたいと考えています。

質問（女性）

障害のある娘が通所しているスマイラ松原は、現在、定員がいっぱいになっています。別の場所に施設をつくるなど、拡充をお願いできないでしょうか。

回答（市長）

就労継続支援B型と就労移行支援、生活介護を行っているスマイラ松原は、4年前の開設時に従来の施設よりも定員を拡大しましたが、生活介護については定員に達しているのが現状です。スマイラ松原が入っている総合社会福祉センターでは、施設面で更なる受け入れは難しい状況ですが、障害のある方たちが住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう、対応をしていかなければならないと考えており、実施場所や運営方法などを含めて検討を重ね、受け入れ態勢を拡充していきたいと思っています。

質問（男性）

生涯スポーツ団体として、市民体育館を利用しています。市民体育館の耐震化に伴い、代替施設を利用する上で、第二中学校の武道場を1団体だけでなく、複数団体で使えるようにしていただけないでしょうか。

回答（市長）

市民体育館の耐震化にあたり、一年間、閉館することは、やむを得ないこととはいえ、利用者の皆さんには、ご不便をおかけします。第二中学校の武道場の有効的な活用に向け、ご提案があったことを担当課へ伝えておきます。

（生涯学習スポーツ課より 市内小・中学校体育施設の開放事業として、小・中学校の体育館や校庭を利用する際、曜日・時間が重複する場合には、複数団体が分け合って利用しているケースもあり、第二中学校についても、できる限り調整を図ってまいります）

質問（男性）

ふるさと納税の推進に向け、この1年どのような取り組みを行ってきましたか。

回答（市長）

ふるさと納税の推進については、蕨市においても拡大を図るため、この1年、検討を重ねてまいりました。そして、ふるさと納税の返礼品制度について、今年度、導入することとし、それに伴い、制度運営を民間委託するため、予算を計上しました。現在は、市内の企業に返礼品のご協力をいただけるよう、交渉に当たるなど準備を進めていますので、ご理解をお願いいたします。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。